



# なかごころ (那珂心)



福岡市立那珂小学校  
校長 池田 彰治

## 重要です

オンライン授業を試行します ⇒ 来年1月23日(土)と2月20日(土)

福岡市においては、子どもの個性に合わせた教育の推進と、非常時における学力の保障のため、国の計画を前倒しし、本年12月までにすべての小・中・特別支援学校および高等学校において、「一人一台端末(タブレット)」が整備されます。

そこで、令和3年1月23日(土)と2月20日(土)の2回、市内全ての小学校でオンライン授業を試行します(中学校は、12月12日と2月20日)が、これについての概要を載せたプリントを先週10月27日にお配りしていますので、内容を必ずご確認ください。また、本校のホームページにも同じものを掲載しています。

今回の試行の概要は、以下の図の通りです。

A: 登校し、教室でタブレットを使って学習する

B: タブレットを持ち帰り、自宅で学習する

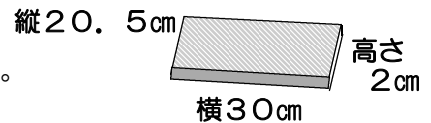
いずれかを選ぶ。



試行に向けての本校における準備スケジュールや保護者の皆様にお願ひすること等につきましては、改めてお知らせいたします。

まずは、12月に、1月23日(土)のオンライン授業を登校して受けるか、自宅で受けるかを選択して回答していただく「参加確認票」を配付しますので、提出をよろしくお願ひいたします。

タブレットは右のようなサイズで、ランドセルにも入ります。精密機械ですので、ランドセルが他のものでいっぱいの時、別に持ち運ぶためのバッグを準備されておいた方がいいかもしれません。クッション性のある生地の袋をおすすめします。なお、重さは、約1.4kgです。(袋の準備は任意です。各ご家庭でご検討ください。)



【ピオトープには、まだ落ちていますよ】

## 自然と なかよし vol. 31 (那珂小スケッチ)

もう、すっかり秋ですね。朝は気温が10℃前後で、厚手のふとんが必要

です。登校する子どもたちの背中も、少し丸まっています。

先日、秋らしいものを見つけました。どんぐりです。たぶん「クヌギ」という植物の実です。公民館横の用水路を挟んだ三角形の土地(本校の敷地)に落ちていたものです。

ここは、16年前につくられた「ピオトープ」です。これは、木を植えたり池を造成するなどして生物が生息する空間をつくった、いわば人工的な自然園です。春にはサクランボが実り、夏にはセミの抜け殻がたくさん見られます。今は、コオロギもたくさん鳴いています。生活科や理科の学習で子どもたちも時々訪れる場所です。

ちなみに、本校のプールは公民館の屋上にあります(市内でも珍しい)が、ピオトープができる頃までは他の多くの学校のように地上にありました。その当時、裏門の前の保育園が公民館でした。

